

第6学年 体育科

【今自分ができる技や挑戦したい技の組み合わせを見通しをもって行い、友達と協力して挑戦する姿】をイメージした授業

東和小 渡邊 康貴

1 本單元における夢中になって学ぶ姿

時間	1	2	3	4	5 (本時)	6
0	オリエンテーション ・学習内容の確認 ・安全の約束の確認 ・場の準備や片付けの確認 運動身体作りプログラムマット運動バージョンの紹介	場の準備→準備運動(運動身体作りプログラム マット運動バージョン)				
45		・今できる技を確かめる。 ・技のポイントを知る。 ・グループ編成をする。	・前転系・後転系の技に挑戦する。 ・自分の選んだ技に挑戦する。 ・グループで取り組む。	・巧技系の技に挑戦する。 ・補助の仕方を確認する。 ・グループで取り組む。	・自己の選んだ技に取り組む。 ・グループで取り組む。 ・技の組み合わせを考える。	・グループで取り組む。 ・考えた技の組み合わせの練習をする。 ・発表会をする。
		振り返り→整理運動→片付け				
知	運動の課題や約束、場や用具の使い方、場の安全な確保など、マット運動の行い方を理解している。【観察】	技の行い方やポイント、練習の仕方を理解している。	技の行い方やポイント、練習の仕方を理解している。			開脚前転・後転・側転などの基本的な技や自己の能力に適した回転系や巧技系の発展技に取り組む。技を身につけたり、選んだ技を繰り返したり、組み合わせたりすることができる。【観察】
思	自分の能力に適した課題を見付けたり、学習資料を活用して課題の解決に向けた活動を選んでいる。【観察・学習カード】		観察し合って、見付けた自己のつづや仲間への考えを他者に伝えている。【観察・学習カード】	技のできばえを振り返り、課題を修正したり、新たな課題を見付けたりしている。		
態	準備や片付けなど分担された役割を果たそうとしている。【観察】		場や器械・器具の安全に気を配ろうとしている。【観察】	学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合おうとしている。【観察】	仲間への考えや取り組みを認めようとしている。【観察・学習カード】	マット運動に積極的に取り組もうとしている。【観察・学習カード】

2 本時における研究の視点

視点Ⅰ【見方・考え方を働かせながら学びを自分事として捉える指導の工夫】

① 技の組み合わせを見通しをもって行えるよう、教具の工夫をする。

○ グループごとに技の組み合わせを考える際に、技の名前が入ったカードをボードに貼ることで、具体的にそれぞれの動きをイメージすることができるようにする。

技カードを選ぶ

組み合わせ表

×2(くりかえし)

×2(くりかえし)

×2(くりかえし)



技と技の間は、どうすればスムーズにつながるかな。

組み合わせの中に倒立前転を入れてみたい。



② タブレットを使用して自分の動きを確認したり、お手本を見たりすることで技の技能の向上を図ることができるようにする。



倒立から前転に行くところが難しいな。

技から次の技へスムーズに流れているかな。



頭→首→肩とゆっくりマットにつけていくよ。



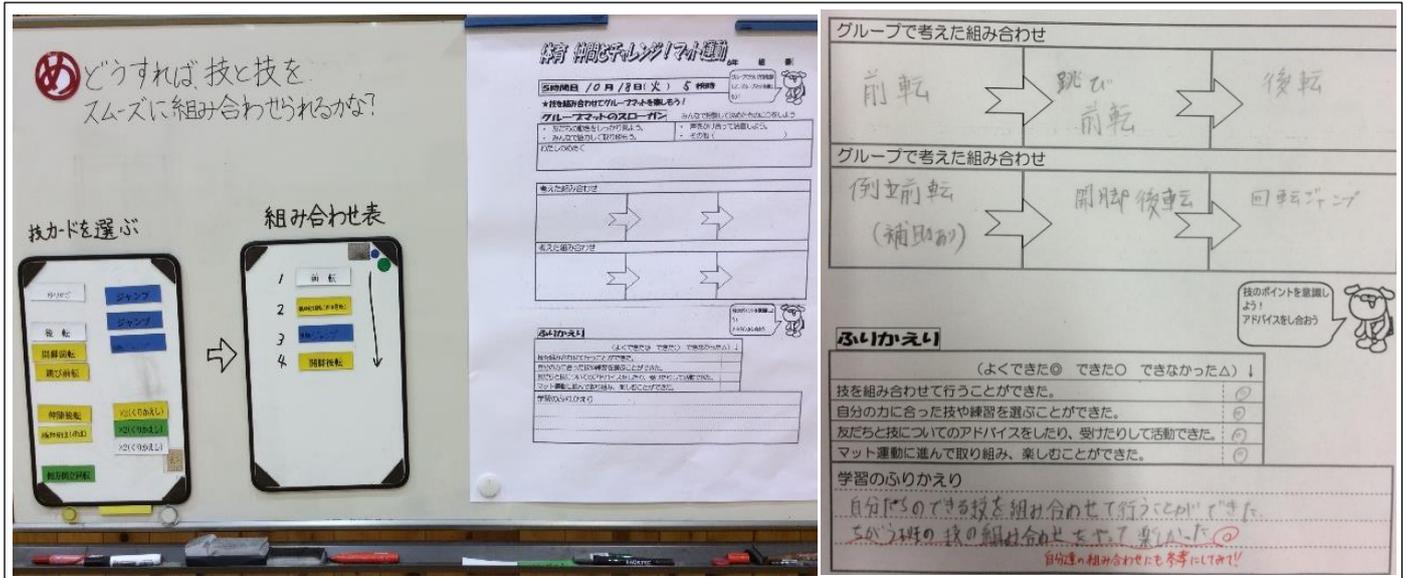
視点Ⅱ【学びの連続性につながる振り返り】

活動の中でよくできた点などを学習カードに記入し、次時への意欲を高めるようにする。

<児童の振り返りから>

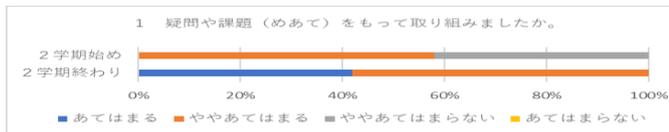
- 自分の力に合った技を組み合わせると良いと思った。
- ちがう班の技の組み合わせをやって楽しかった。
- 倒立前転をもっとうまくできるようにいっぱい練習したい。
- スムーズにできないところがあったので、スムーズにできるように練習する。

★板書を創る【本時のねらいに基づいた板書案の作成】

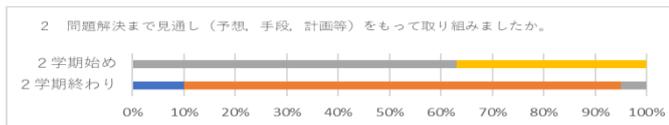


3 アンケートの結果から

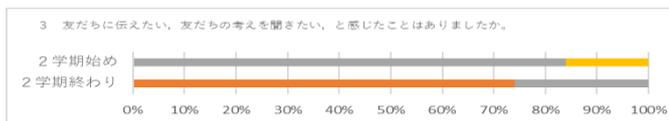
① 関心・意欲, 課題意識



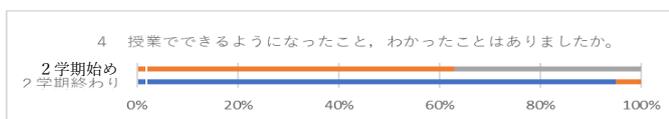
② 見通し



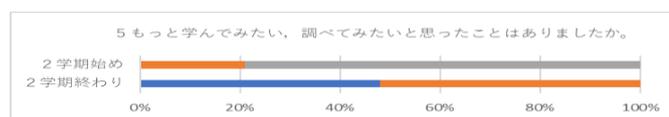
③ 話し合い・学び合い(協働の学び)



④ 振り返り



⑤ 新たな学びへ (学びの連続性)



4 考察【○成果 ●課題と改善策】

【視点Ⅰ】

- 技の名前が書いてあるマグネットカードをホワイトボードに並べる活動を取り入れたことで、子どもたちは、技のイメージだけでなく、技と技の間の動きもイメージして取り組むことができた。

- 「スムーズ」というキーワードは子どもたちから出てきたが、「スムーズ」について問い返しを行い、

技の組み合わせにおけるスムーズさについて共有させたい。

- 技の難易度に合わせてカードの色を変えたり、技ごとに点数をつけたりすることで、より得点の高い組み合わせを考えて取り組めるようになると考える。

【視点Ⅱ】

- 学習カードを活用したことで、グループでの取り組みや自分の取り組みに対して課題を明確にすることができた。アンケートの結果④や⑤からも子どもたちが振り返り、新たな学びへ意欲をもってきていることが見てとれた。

- 振り返りの手立てとして、学習カードに記入したことを撮影し、クラスルームに貼り付けることで、共有化が図れる。また自分の反省をタブレットで自撮りして共有させると時間短縮にもつながると考える。

【その他】

- タブレットを活用したことは、自分たちの技の出来栄を確認し、技と技の間の動きや技の完成を高めるのに大いに役立った。

- 補強の場作りとして、グループごとの練習の際に、傾斜のあるマットや壁倒立の場などを準備して、子どもたちが選択して技の練習に取り組めるようにしたい。

実際の指導案はこちらへ